**あいりん対策一覧表**

1.越年対策事業(事業開始　昭和45年12月)

年末年始に、日雇い就労が困難となるため、食・住に困窮する労働者を臨時宿泊所へ入所させることにより援助。

入所人員

8年度　12月29日～1月7日の入所保護者　1,574人　(9泊10日)

9年度　12月29日～1月16日の入所保護者　2,380人　(18泊19日)

10年度　12月29日～1月7日の入所保護者　2,824人　(9泊10日)

2.社会医療センター運営整備助成(事業開始　昭和45年7月)

「あいりん」並びにその周辺の居住者及び生計困難者に対し、無料低額診療を行い、保険・所持金の有無に関わらず迅速な医療の提供を実施。

補助先　社会福祉法人大阪社会医療センター(あいりん総合センター内に設置)

利用人員　入院(内減免患者者数)　外来(内減免患者数)

8年　26,745人(97人)　87,169人(38,060人)

9年　27,163人(65人)　96,628人(35,134人)

10年　27,263人見込み　104,521人見込み

3.あいりん生活道路清掃事業等　(事業開始　平成6年11月)

生活に困窮する高齢日雇労働者を生活道路清掃等に雇用し、就労機会の提供。

雇用人員

6年　2,110人　[府2,880人]

7年　4,020人　[府2,160人]

8年　6,600人　[府2,520人]

9年　7,610人　[府3,050人]　(フェスティバルゲート延べ900人含む)

10年　9,740人　[府3,330人](見込み)(フェスティパルゲート延べ9OO人含む)

11年　14,460人　[府4,440人](見込み)(フェスティバルゲート延べ900人含む)

4.生活ケアセンター運営補助　(事業開始　平成2(1990)年8月)

野宿している生活困窮者を対象として、昼・夜の巡回相談を行うとともに、要緊急援護者を14日以内の短期間、生活ケアセンターで援護。

補助先　社会福祉法人大阪自彊館

年間延利用人員

8年度12,292人

9年度12,593人

10年度26,000人(見込み)

11年度62,000人(見込み)

5.日雇労働者福利厚生事業(事業開始　昭和46年度　夏)

あいりん職安発行の雇用保険日雇手帳所持者に夏期・冬期一時金を支給

支給人員

8年度夏期　13,212人(単価　16,300円)

〃　冬期　13,553人(〃　18.O00円)

9年度夏期　13,735人(〃　16,900円)

〃　冬期　13,744人(〃　18,400円)

10年度夏期　13,494人(〃　16,900円)

〃　冬期　13,235人(〃　18,400円)